

榛原総合病院 だより 11

2025
第241号

新任医師の紹介

<10月赴任医師>

■消化器内科：鈴木研一郎 医師



鈴木医師

■外科：中野一輝 医師



中野医師

インフルエンザ予防接種のご案内

インフルエンザ予防接種の予約を、下記のとおり開始いたしました。接種日時などの詳細は、当院ホームページまたは院内掲示にてご確認ください。なお、接種期間はワクチンの入荷状況や予約状況により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

【小児科】◇予約制です。(高校生まで)

*電話での予約：火曜日～金曜日(平日) 11:00～12:00

【一般】◇予約制です。*高校生も可

*電話での予約：月曜日～金曜日(平日) 14:00～16:00

*総合受付窓口での直接予約： 11:00～16:00

*お問合せ先：榛原総合病院 電話 0548-22-1131 (代)



ドクターからのメッセージ

『ヒトの肉体について』～前半～

総合内科 岡田真司 (おかだしんじ)



はじめまして。私は、榛原総合病院の総合内科に勤務する医師です。

この度は、このような機会を頂きまして、誠にありがとうございます。

9月5日には思いもよらなかった、竜巻災害が起こり、まだまだ、罹災された方々にかかる御負担は、私の想像を超えるものと存じます。私共の病院のある牧之原市は、これから、一人ひとりが最大限に力を発揮して、復興の道をたどらなければならないと感じています。これから、私自身も復興の道を辿る一人の人間としての自覚を持って、歩いていく所存です。どうか、罹災

された市民の皆様の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

さて、成人の肉体の細胞は37兆個とされています。生まれたての赤ちゃんは3兆個、10歳で17兆、ただ、一番初めに、お父さんの精子とお母さんの卵子で受精した受精卵は、1つの細胞です。その1つの細胞が、2個に分裂し、4個に分裂し、8個に分裂し、・・・、これを46回繰り返すと、37兆個になるそうです。そして、胃の粘膜細胞、酸素を運搬する赤血球、かさぶたの元になる血小板、骨の細胞などなど、それぞれ、壊されて生まれ変わる期間が決まっています。胃の粘膜細胞は3日間、赤血球は120日、血小板は10日、骨の細胞は3年程度。全身の細胞がすべて生まれ変わるのは3年で生まれ変わっています。細胞の中には、核という遺伝子情報(DNA)の部分、ミトコンドリアというエネルギーを作る部分、リボゾームというタンパク質を作る部分などがあります。その細胞の各部分が、しっかりと動くためには、エネルギーがなければなりません。



このエネルギーがどのように生み出されているのかについては、後半でお話いたします。

<おねがい> 受診の際には、必ず『おくすり手帳』をご持参ください。